

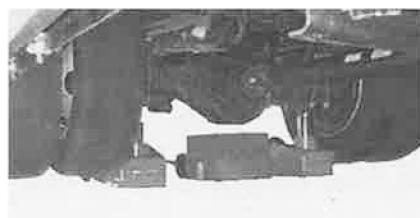
小野谷機工

小野谷機工
中小企業
府長官賞を受賞

小野谷機工は11月19日に滋賀県大津市の琵琶湖ホテルで開催された、発明協会主催の「近畿地方発明表彰式」で、同社の発明である「車両全確保装置」商品名・枕木台車(セーフティーウッドキャリー) SWC-25が、「中小企業府長官賞」を受賞した。近畿地方発明表彰の受賞は2年

ぶり8回目となる。

「SWC-25」は、大型車両ジャッキアップ時の安全作業確保の必需品といわれ、車両はジャッキで押し上げられ、作業者は車両の底で点検や修理を行うが、その際安全確保装置として「SWC-25」のブロックが車両の底に配置されているため、万が一ジャッキがは



中央にあるのがSWC-25

ずれた場合でも、ブロックで支えられ、作業者が潰されることはない。高さに応じて選べる2段積み枕木を採用しているためジャッキで押し上げられた空間に適した高さで支えられ、作業者が潰されることはない。ドル仕様で奥深い箇所へのセッティングも容易に。今回長官賞に輝いた特許は、3年ほど前に取得し、商品化して販売を開始した。毎月一定ペースでトラックサービス店から注文が入るという。授賞式には三村昌之会長が出席して盾を授賞した。近畿地方発明表彰には、①文部大臣賞、②特許庁長官賞、③中小企業府長官賞他様々な表彰があり、今回は上位3番目にに入る大きな表彰。

このブロックを選択して配置ができ、ロングハンドル仕様で奥深い箇所へのセッティングも容易に。今回長官賞に輝いた特許は、3年ほど前に取得し、商品化して販売を開始した。毎月一定ペースでトラックサービス店から注文が入るという。授賞式には三村昌之会長が出席して盾を授賞した。近畿地方発明表彰には、①文部大臣賞、②特許庁長官賞、③中小企業府長官賞他様々な表彰があり、今回は上位3番目にに入る大きな表彰。